

中西ふみとし通信

第12号

2025年7月
＜中西文寿の議会報告＞

〒355-0814

滑川町みなみ野1-10-21

TEL : 080-7980-8059

4月臨時議会及び6月定例議会報告

この度、4月30日に開催された第246回臨時議会と、6月3日から6月6日までの4日間にわたり開催された第247回定例議会の審議結果をご報告いたします。参議院選挙の影響で議会報告の発行が制限されたため、配布が遅れましたこととお詫び申し上げます。さて、今回の臨時議会および定例議会では、計16件の議案と1件の発議が提出され、いずれも原案通り可決されました。私は是々非々の立場で議案審議に臨みましたが、今回は反対する議案はなく、全てに賛成いたしました。また、今回の議会では1件の請願が提出されました。この請願は慎重な審議の結果、残念ながら不採択となりました。私個人としては、この請願は採択すべきと考えておりましたので、非常に残念に思っております。詳細については後ほどご説明させていただきます。



＜4月臨時議会、6月定例議会審議結果＞ 審議の分かれた議案

議案番号	件名	結果	備考
議案第39号	滑川町不法投棄防止条例の一部改正	賛成多数 (賛成12、反対1)	反対議員 上野議員
議案第40号	滑川町水道事業給水条例の一部改正	賛成多数 (賛成11、反対2)	反対議員 上野議員、阿部議員
議案第41号	滑川町下水道事業条例の一部改正	賛成多数 (賛成11、反対2)	反対議員 上野議員、阿部議員
議案第42号	滑川町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正	賛成多数 (賛成11、反対2)	反対議員 上野議員、阿部議員
議案第46号	工事請負変更契約の締結	賛成多数 (賛成11、反対2)	反対議員 上野議員、阿部議員
請願第3号	従来（紙）の健康保険証の復活を求める意見書に関する請願書	不採択多数 (不採択8、採択5)	採択：上野議員、阿部議員、 赤沼議員、原議員、 中西

公式サイト



Facebook



Instagram



滑川町議会議員 中西文寿

Mail : nakanishi.suppo789@gmail.com

第3号「採択すべき」との立場。理由は以下の通り
マイナンバーカードと健康保険証の一体化が進行

する中、誤登録やエラーが頻発し、2023年には2万件超の誤登録・誤交付が発生。国民の不信感を招き、2025年2月時点のマイナ保険証利用率は26.62%と低迷している。一部健保組合が高額な資格確認書手数料を設定し、事実上の強制と懸念されるなど、国民の選択の自由や安心が損なわれている。本請願は、「将来的なマイナ保険証への一本化を全面的に否定するものではない」ことを踏まえ、情報不透明な現状では医療現場の混乱も招くため、信頼性が確立されるまで紙の保険証を残すべきだと考える。

一般質問

今回登壇した議員は8名。中西からの質問は以下の通り。

テーマ	質問	回答	所見
1 水道料金等のクレジットカード決済	①クレジットカード決済に対応していない理由を具体的に教えてほしい。	料金システムの改修費用が高額であり、導入後の代行会社への手数料も口座振替に比べ高額であることが大きな理由。	初期費用は小さな町にはその負担感は大きく、大きな市と同じような対応ができないのもやむを得ない。
	②最近、スマホ決済アプリによる水道料金の支払いが可能になったが、町のホームページの案内はわかり辛い。わかり易く改修が必要では。	確かに分かりにくい面があるので分かりやすく改修する。今後もより見やすく分かりやすいホームページ作りを行っていく。	3日で対応がされた。迅速な対応に感謝したい。
2 企業誘致の推進	①企業誘致を成功させるには滑川町の強みや課題を整理し、誘致の可能性が高い業種や企業の調査（サウンディング調査）が必要と考えるが、現状どのような取り組みをしているのか。	現段階ではサウンディング調査は行っていないが、担当内では今後検討すべき課題と認識している。現在は県内の状況から滑川町の状況を多角的に捉える術として、県企業立地課と連携を行っている。	簡単に進まないのはわかるが、財政的に余裕があるわけではないので、担当課だけで抱え込むのではなく、町全体の課題として取り組んでほしいものだ。現在、第6次総合振興計画検討中なので、その全容が判明したところで改めて、状況確認をしたい。
	②企業誘致は多くの市町の首長が公約に掲げるほど競争が激しく、滑川町も積極的に取り組まないと取り残される。今後は、必要に応じてコンサルティングの導入も検討し、効果的な誘致戦略を練るべきではないか。	まだ担当レベルではあるがそのような話も出ている。今後できるかは予算との兼ね合いや総合振興計画との整合性を考えて検討していきたい。	
	③比企地域は地盤が固く地震に強いと聞くと、これは専門的な調査やデータで証明されているのか。また、企業誘致のPR材料として活用しているのか。	埼玉県地震被害想定調査報告書の内容から、滑川町を含む埼玉県西部地区は、大規模地震時の揺れが他の地区より小さい可能性があるが、滑川町に特化したデータはなく、さらなる調査研究が必要。この点を地震に強い町としてPRに活用できるか、今後検討していく。	滑川町に特化したデータがないことから「推測」はできても「断定」はできない。だからPRに活用できるかは今後の課題であるとの回答。PRの材料は欲しいが、誇大広告になってはいけいないので、しっかり裏取りを取って活用して欲しい

※表内の文字が小さくなっており、読みづらくて申し訳ありません。詳しい内容は、表紙のQRコードからアクセスできる「公式サイト」の「お知らせPDF」でもご覧いただけます。